

NTT株式会社
NTTアーバンソリューションズ株式会社
NTT都市開発株式会社

日比谷からはじまる「光の街」づくり powered by IOWN ～NTTグループ誕生の地・日比谷に、NTT本社を2031年に移転予定～

NTT株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長島田明、以下「NTT」）、NTTアーバンソリューションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長池田康、以下「NTTアーバンソリューションズ」）およびNTT都市開発株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長池田康、以下「NTT都市開発」）は、NTTが中心となって構想を推進する次世代情報通信基盤「IOWN^{※1}」が実装され、テクノロジーの進化とともに、街も進化し続ける“「光の街」づくり powered by IOWN”（以下「本取り組み」）に着手します。

本取り組みの第一弾は、NTT都市開発と東京電力パワーグリッド株式会社が事業主として、東京都千代田区にて開発中の「NTT日比谷タワー」（2031年10月末竣工予定、以下「本タワー」）において推進され、本タワーを含む「内幸町一丁目街区^{※2}」にて掲げる次世代スマートシティ実現の一端を担います。

日比谷は、1961年に当時の日本電信電話公社（現NTT）が本社を構えた大変思い入れの深い場所です。NTTは、この地に建設する本タワーに本社を移転（予定）し、これまで培ってきたNTTグループ^{※3}の技術力とノウハウを結集することにより、これまでにない「新しい価値の提供」と、圧倒的な“超・低消費電力化”を実現してまいります。さらに、パートナー企業の皆さまとの共創を通じて、多様な知見や最先端の技術を融合させ、人を中心とした、より持続可能で魅力的な社会の実現をめざして推進していきます。



内幸町一丁目街区完成イメージ^{※1}

■背景

日本は現在、少子高齢化にともなう人手不足、気候変動による地球温暖化、頻発する自然災害など、深刻な社会課題に直面しており、持続可能な社会の実現に向けた対応が急務となっています。また AI・ロボット・モビリティ市場の拡大により生活が豊かになる一方、電力消費量の著しい増大が懸念されています。

こうした課題に対し、私たちは膨大なデータを大容量・低遅延・低消費電力で処理する次世代情報通信基盤「IOWN」を活用し、社会の変革に挑みます。これらの基盤で社会を支えることにより、企業の業務効率化・自動化、災害や気候の予測、そしてインフラや環境の自動制御など、さまざまな分野での課題解決が可能となります。街づくりの分野においても、光技術などの力で人々に豊かな暮らしを提供し、より安全・安心で持続可能な社会の実現をめざします。

■概要

IOWN などの先進技術の実装、パートナー企業の皆さまとの共創により、以下の価値提供をめざします。

① 新しいビジネス・イノベーション

IOWN が実装された本タワーは、世界中のパートナー企業とリアルタイムでのコラボレーションを可能にし、イノベーティブでクリエイティブな企業活動を支えます。

また、IOWN による空間伝送に加え、NTT 版山「tsuzumi2^{※4}」や、大規模 AI 連携技術「AI コンステレーション^{※5}」などの先進技術と組み合わせたサービスの活用により、企業・オフィスワーカーの業務効率化・生産性向上、国境を越えた共創を実現します。

将来的には、打合せで出たアイデアが容易にモデル化され、時には相談相手、時には行動支援（コンシェルジュ）、時には資料を検索・提示する業務コンサルの役割を担うなど、これまで以上にクリエイティブな活動をサポートすることにより、オフィスワーカーのパフォーマンスを最大化する環境を整えます。



将来的な空間・時間を問わないビジネスシーンイメージ^{※2}

② 新たなライフスタイル・エンターテイメント

IOWN で世界中の街と街、エリア同士など空間をリアルタイムでつなぐことにより、今までにないライフスタイル・エンターテイメントを実現します。本タワー低層部に位置し、日比谷公園とつながる大規模なパーセジュ・アトリウム空間である（仮称）Cross Gate には、壁面・天井一体型の大型 LED ビジョンが実装され、巨大な屋内プレゼンテーション&エンターテイメント空間が広がります。

例えば、企業の新商品・サービスを世界・日本各地とつないで同時発表したり、企業価値向上のための広告展開、低層部に広がる商業施設との一体的なイベントなどでも活用できます。また、イベント開催時以外も、オフィスワーカーや来街者の方々が働き・憩う場として機能します。

将来的には、NTT のリアルとバーチャルが融合した音響体験を提供する「音響 XR 技術」などのより深い没入感を生み出す技術が掛け合わることにより、世界各地の会場と連携した映像ギャラリーやアート展示、体験型のゲームやアトラクションなど、さまざまな目的に応じた体験を提供することが可能です。



将来的な（仮称）Cross Gateでのエンターテイメントイメージ^{*3}
（左図：バーチャルアクアリウム、右図：他会場と融合したバスケットボール観戦）

③ 超・低消費電力化によるサステナビリティ

新しいビジネスやライフスタイルなどの“新しい価値の提供”を、本タワーの建物性能や最先端のエネルギー技術などにより支えることで、持続可能な社会の実現をめざします。

具体的には、建物仕様の設計工夫により、従来建物で必要なエネルギー消費量を 50%以下にまで削減する「ZEB Ready」をオフィス部分で実現します。さらに、光電融合デバイスの活用による圧倒的な“超・低消費電力化”に加え、IOWNを基盤としたAIなどの活用による未来予測で建物設備を最適制御し、省エネと快適性を両立する「Just Enough Energy^{*6}」により運用効率を最大化し、CO₂排出量を 10%から 20%削減します。さらにはクリーンエネルギーなどの活用により、カーボンニュートラルを実現します。

将来的には、光量子コンピュータなどの新たな技術による更なる運用効率化や、水素などの次世代のクリーンエネルギーの活用にも取り組んでまいります。



カーボンニュートラルに向けた取り組み

■今後の展開

本タワーが位置する内幸町一丁目街区は、東京都心における中核的な拠点のひとつであり、官民連携や企業・研究機関との共創が可能な次世代スマートシティに生まれ変わります。

これまでにない“新しい価値の提供”と、圧倒的な“超・低消費電力化”が実現される“光の街”づくり powered by IOWNTMに向け、本タワーを実証・実装フィールドとして活用し、得た知見を、周辺エリアや全国・世界各地へと展開してまいります。



周辺位置図

■各社の役割

NTT : IOWN・AI・光量子コンピュータなどの先進技術に関する研究開発の推進

NTTアーバンソリューションズ : IOWNなどの先進技術を活用した街づくりの推進・展開

NTT都市開発 : NTT日比谷タワーの事業主としての不動産開発・賃貸事業の推進

■NTT日比谷タワー概要

物 件 名 称	NTT日比谷タワー
所 在 地 (地 番)	東京都千代田区内幸町一丁目1番10他
延 床 面 積	約361,000m ²
建 物 高 さ / 規 模	約230m / 地上48階、地下6階、塔屋2階
用 途	オフィス、産業支援施設、ホール、商業、宴会場、ホテルなど
事 業 主	NTT都市開発株式会社、東京電力パワーグリッド株式会社
タ ワ 一 竣 工	2031年10月末 (予定)
街 区 全 体 竣 工	2037年度以降

※本リリースの内容は発表時点での情報であり、今後変更が生じる可能性があります。

※1 IOWN (Innovative Optical and Wireless Network) 構想とは、あらゆる情報をもとに個と全体との最適化を図り、多様性を受容できる豊かな社会を創るため、光を中心とした革新的技術を活用し、これまでのインフラの限界を超えた高速大容量通信ならびに膨大な計算リソースなどを提供可能な、端末を含むネットワーク・情報処理基盤の構想 <https://group.ntt.jp/group/iown/>

※2 都心最大級床面積110万m²の次世代スマートシティプロジェクト (TOKYO CROSS PARK構想) <https://www.tokyo-cross-park.jp/>

※3 主に各社の役割に記載のNTT、NTTアーバンソリューションズ、NTT都市開発

※4 NTT版山Mtsuzumi2 <https://group.ntt.jp/newsrelease/2025/10/20/251020a.html>

※5 多様なAIが連携した「AIコンステレーション」 <https://www.rd.ntt/cds/ai-constellation/>

※6 Just Enough Energy とは、室内外環境・運用ニーズと建物制御の最適化により省エネと快適性を両立する環境マネジメント

<https://www.ntt-us.com/news/2022/12/news-221221-01.html>

【関連リリース】

- ・内幸町一丁目街区中地区「NTT 日比谷タワー」新築工事着工
“進化し続ける価値創造のプラットフォーム”の実現をめざして（2025年12月8日）
https://www.nttud.co.jp/news_pdf/news_251208_001.pdf
- ・都心最大級延床約110万m²、日比谷公園と一体となった比類なき街づくり「TOKYO CROSS PARK構想」を発表 内幸町一丁目街区における次世代スマートシティプロジェクト（2022年3月24日）
<https://www.nttud.co.jp/news/detail/id/n26376.html>

【お問い合わせ先】

NTT株式会社 広報部門 ntt_pr@ntt.com

NTTアーバンソリューションズ株式会社 広報室 nttus-pr@ntt-us.com

NTT都市開発株式会社 広報室 nttud-pr@ntt-us.com

*1 ©Wire Collective

*2 ©PLP Architecture

*3 ©InPlace